業界人からのメッセージ

高機能空調機器をリリース

新晃工業　執行役員 技術本部長　鍋島　泰



あけましておめでとうございます。平成二十六年の新春を迎えるにあたり、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

まず、昨年七月の東京証券取引所と大阪証券取引所との市場統合と同時に、新晃工業が東証一部に上場しましたことをご報告いたします。

昨年一年間を振り返りますと、UNESCO世界遺産委員会で富士山が世界遺産に登録されたことや、IOC委員会で二〇二〇年の夏季オリンピック開催都市が東京に決定したことで、日本の全国民が歓喜に沸いたことが印象に残っています。

一方、九月に関電大飯原発3・4号機が停止し、一昨年五月以来再び国内で稼働中の原発がゼロになりました。必要な電力は賄えていますが、綱渡りの状況であり危機が去ったわけではありません。原発の代替として火力発電が増えたため、天然ガスの輸入と消費が増加して電気料金が上昇し、企業だけでなく家庭の負担も増えています。

このような環境の中で、太陽光や風力・地熱などの再生可能エネルギー・未利用エネルギー利用の推進活動が行われるとともに、我が国の全消費電力量の約五五%を占めると言われるモータのうち、三相誘導電動機のモータ効率規制（IE3規制）が二〇一五年度より予定されるなど、より具体的な政策も始まっています。

また、今後は快適な暮らしを維持しつつも、地球環境に配慮した省エネルギー型のシステムを普及させ、エネルギーの需給量を最適にコントロールすることも必要になってきます。

新晃工業は昨年から、『省エネ』『CO₂削減』をキーワードに、IE3規制効率を満足するモータを搭載してコンパクトで柔軟な制御性を有した「Smart空調機」の販売を開始いたしました。

また、現在エネルギー需給の最適化を目指す「エネルギーの見える化システム」に関する研究開発も行っており、本年は一次側熱源機器との整合も図った「新シリーズ空調機」の商品化を行います。

さらに、中国からのPM2・5の影響などを見据え、居住空間の空気清浄度に着目した製品の開発にも取り組んでいく予定です。

今後も新製品の開発を継続し、『多様化する熱エネルギーシステム』や『周囲環境に影響されない最適空間』に整合した高効率、高機能な空調機器の開発を進めてまいります。